

珍しい交響曲 ルーマニア Minor Symphonies Romania

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
George Enescu	エネスコ	1881-1955	3	交響曲第1番(1905)	☆☆☆☆	ルーマニア狂詩曲でのみ名前が残っているエネスコですが、立派な交響曲も書いています。ルーマニアという民族色はあまり感じられませんが、聞きやすい3つの楽章から成ります。3つの楽章で35分。第1楽章の冒頭は印象的です。		CHAN10984X	CHANDOS
				交響曲第2番(1914)	☆☆☆☆	3つの楽章で57分という大曲です。第1楽章冒頭はメンデルスゾーンのイタリア交響曲と似た雰囲気です。第3楽章の後半は大音響の連続です。			
				交響曲第3番(1918)	☆☆☆☆	これも3つの楽章で55分。第3楽章には歌詞の無い合唱が加わります。			
Calin Huma	ユマ	1965-	1	交響曲第1番 カルパティカ(2015)	☆☆☆☆	なかなか魅力的な部分(特に冒頭など)もあり、中部ヨーロッパの雰囲気を味わえますが、作曲技法としては100年以上前の曲です。第3楽章の最後の方にブリテンのシンプルシンフォニーの第2楽章のピチカートによるスケルツォと似た部分があります。意識的でしょうか？		GMCD 7824	Guild